

茨城県图画工作・美術教育研究部研究調査委員会 授業実践研究報告（令和元年 8月）

研究テーマ	学び合いを生かした造形的な創造活動の学習指導の工夫 一小学校第3学年「どんどんつないでFuture 3の木」の実践を通して— 結城市立城南小学校 教諭
-------	---

### I 研究テーマについて

児童が主体的に活動し、対話的で深い学びのできる授業が求められている。

图画工作科は、自分なりのイメージを形に表し、感じ取ったことを見たり、聞いたり、話したりしながら、他者と相互に学び合うことにより、そこからまた、新しい自分の発想や構想が生まれる、効果的な学習活動が期待できる教科であるといえる。児童自らが題材に対して興味をもち、意欲的に活動し始めれば、有意義な活動となっていく。图画工作科における「学び合い」を生かした学習指導の在り方とそのための効果的な手立てを模索し、その実践を通して、つくりだす喜びを味わう造形的な創造活動の学習指導を探ることを研究テーマとする。

### II 研究の実際

#### 1 題材名 どんどんつないでFuture 3の木

#### 2 題材の目標

- ・学級みんなで1つの大きな木をつくることに関心をもち、製作活動や鑑賞に意欲的に取り組もうとする。（関心・意欲・態度）
- ・創造的な木の枝や葉、実、花を発想し、1本の木にすることを構想することができる。（発想や構想の能力）
- ・新聞紙とガムテープを使って、創造的な木や枝、実や花を表現することができる。（創造的な技能）
- ・製作途中段階での鑑賞や、完成した木の鑑賞を通して、造形の楽しさや美しさを感じ取ることができる。（鑑賞の能力）

#### 3 題材について

##### (1) 児童の実態 (男子21名女子17名 計38名) 実施日 平成30年9月20日 (単位:名)

質問	集計結果
図工の授業に興味・関心はあるか	とてもある：35 ある：4 少しある：1 ない：0
好きな単元は何か（複数回答可）	絵：26 立体・工作：32 鑑賞：17
アイデアはよく思いつくか	思いつく：15 思いつかない：23
製作に困ったとき誰に相談するか	友達：17 先生：15 相談しない：6

これまでの图画工作科の授業では、学習指導要領第3学年および第4学年の目標と内容から、内容A表現「思考力、判断力、表現力等」(1)イ「絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。」を受け、理科で育てたひまわりを見ながらじっくり絵を描いたり、使わなくなった手袋や靴下などをつかって新しい何かを生み出したりするなど、自分の思いを形にする力を身につけている。しかし、学級の児童数が多いこともあり、机上で製作ができる題材を設定しがちであった。また、製作中、

迷ったときに教師に相談する児童が多く、これは、児童同士の意見を交換する時間や途中の段階での鑑賞の時間を設定していない教師の授業の展開の仕方に原因があると考えた。

そこで、今回の学習では体育館の全フロアを使って、児童同士が自由に意見を交換でき、自分の製作をしながら友達の作品を隨時鑑賞できる場を設定し、体全体を使った造形的な創造活動を行いたいと考えた。

## (2) 題材観

本題材は、学習指導要領図画工作科の第3学年及び第4学年の目標1「知識及び技能」(1)「対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通して分かるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的にくつたり表したりすることができるようとする。」から、内容A表現「思考力、判断力、表現力等」(1)ア「造形あそびをする活動を通して、身近な材料や場所などを基に造形的な活動を思い付くことや、新しい形や色などを思い付きながら、どのように活動するかにういて考えること。」を受け設定した。学級目標は「ひとりひとり 何にでもがんばる 笑顔のFUTURE 3」であり、FUTURE 3とは、未来ある3年3組という意味を表し、略した造語である。3年3組の児童がそれぞれの思いを胸に、全員で1木の木を造形し、創造的な実が実り、思い思いの花を咲かせてほしいと考えた。また、新聞紙という身近で多様に形を造形しやすい材料を選び、体育館という広い場所で手や体全体を十分に働かせながら、造形活動をさせたいと考えた。

## (3) 指導観

導入では、完成図のようなものを提示することをせず、どこにもないFUTURE 3の木をつくり出す意識をもたせた。また、友達の発想や表現、意見を認め合い、よりよいものをつくろうとする対話が必要であることを強調する。その手立てとして、グループでの製作活動やグループ同士を合体させたり、編成し直したりすることで、より多くの意見交換ができる機会を増やした。

## 4 題材の評価規準

関心・意欲・態度	発想や構想の能力	創造的な技能	鑑賞の能力
学級で1つの大きな木をつくることに関心をもち、製作活動や鑑賞に意欲的に取り組もうとしている。	創造的な木の枝や葉、実、花を発想し、1木の木にすることも構想している。	新聞紙とガムテープを使って、創造的な木や枝、実や花を表現することができる。	製作途中の鑑賞や、完成した木の鑑賞を通して、造形の楽しさや美しさを感じ取ることができる。

## 5 指導と評価の計画（5時間扱い）

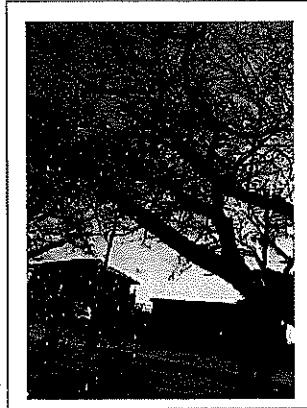
時間	学習内容・活動	評価規準・【評価方法】
第1次 (1時間)	木の大きさや枝、葉、実、花の様子を観察しスケッチする。	・スケッチを通して、枝や実、花の様子を知ろうとしている。【スケッチ】

第2次 (1時間)	スケッチしたものを参考に、新聞紙で枝、実、花をつくる。	・スケッチしたものを参考に、新聞紙を使って、木の枝や葉や実、花をつくることができる。 <b>枝</b> 【作品】
第3次 (2時間)	FUTURE 3の木をつくる。	・新聞紙を使い、創造的な木を発想することができる。 <b>発</b> 【作品・活動】
第4次 (1時間)	作品を鑑賞し、良さを伝え合う。	・製作途中の友達の作品や完成作品から良さや美しさを感じ取ることができ る。 <b>鑑</b> 【ワークシート】

## 6 指導の実際

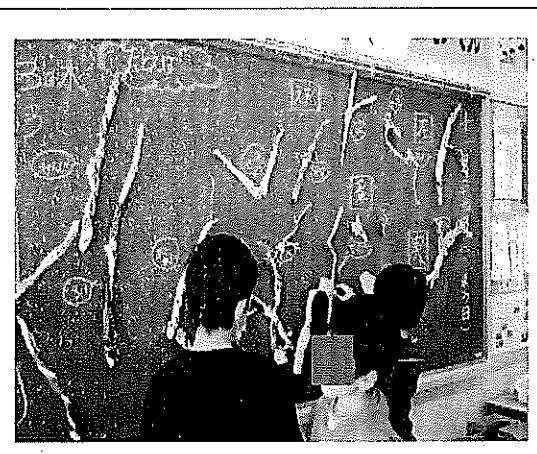
### 第1次 木の大きさや枝、葉、実、花の様子を観察しスケッチする。

新聞紙で大きな木をつくる、という単元のめあてを確認した上で、本時の活動は実際に本物の木を見て、その大きさを感じたり、触ってみて木のゴツゴツ感を知ったり、木の枝や葉の様子を学ぶこと行った。探検バックにスケッチできるように紙とクーピーを準備し、校庭に出て桜の木や松の木などをスケッチした。



### 第2次 スケッチしたものを参考に、新聞紙で枝、実、花をつくる。

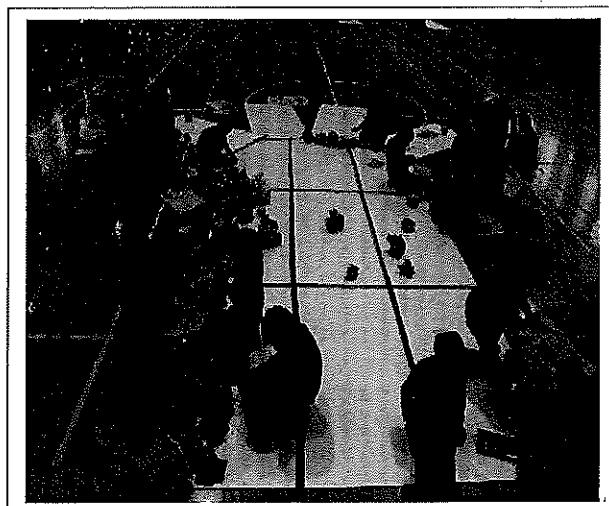
第1次でスケッチしたものを参考にし、グループになって新聞紙で木の枝や葉、花をつくった。作り方は、自分で考えていくことと、友達の様子を見たり、意見を出し合いながら進めていくことアドバイスし製作した。友達の作品を参考にしてつくるのも○、また、友達の作品からヒントをえて、もっと発想を広げるのも○とすることを助言した。つくったものをクラス全員で共有できるように黒板に掲示したり、教室に飾ることとし、まとめの時間にどんな思いをもってつくったのかを発表させる時間をつくった。



### 第3次 FUTURE 3の木をつくる

木の幹の部分は180×90のプラスチックの板を13枚つなぎ合わせた部分にするとし、プラスチック板の先に枝や葉、実や花をつくることを指示した。

大きい板のため、はじめは何からはじめるか戸惑う児童が見られたが、一人の児童が、幹の部分を木のゴツゴツ感を表現するため、新聞紙を丸めてガムテープを両面テープの様にして置き始める



と、その様子を見ている児童が次から次へと新聞紙を丸め始めた。様子を見ていると、児童同士のかかわりの中で新聞紙を丸める担当の児童、板に貼る担当の児童、ガムテープを丸めて両面テープのようにする児童と、効率よく活動できるようにしっかり役割分担をし、あつという間に板は新聞紙で覆いつくされた。

枝の部分は、大きく4本に分かれるようにしておき、A・B・C・Dグループで好きな所を自由な形でつくれることとした。

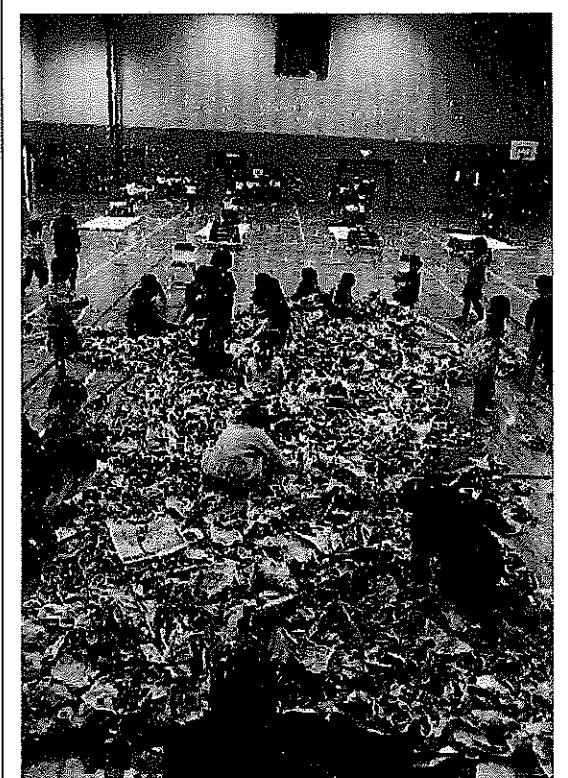
Aグループは、新聞紙がつまれてあるコーナーが気に入り、そこから離れず、枝をつくるより新聞紙の山に興味をもっていたが、グループの児童が新聞紙を縦長に折りたたみ枝にしようとすると、同じグループの児童も同じような活動を始めて行く。

Bグループは、枝の長さにこだわり、新聞紙を広げた状態でテープでつなぎ合わせ、枝の長さを伸ばしていく。

Cグループは、枝を体育館の玄関まで伸ばし、玄関から枝を突き出したいという思いのもと、グループで役割を決めて、新聞紙を縦に巻く児童、テープでつなげる児童と役割分担をして製作を進めている。

Dグループは、枝よりも花にこだわり、これまでに図工で学習してきたチョッキンパックを新聞紙でつくったり、新聞紙のカラー部分を集めて花の造形をつくったりしていた。

グループごとに活動は様々であったが、児童の声に耳を傾けると「〇〇ちゃんたちは丸めているからこっちは変えよう」、「この先でつなげちゃおう」などの言葉が聞くことができた。児童の意識の中で、一つの木をつくっていることが伝わってきた発言が聞き取れた。



#### 第4次 作品を鑑賞し、良さを伝え合う

完成後、全員で体育館ステージから作品を鑑賞し、思い思いに自分の意見を伝え合った。「○○さんの意見によって枝が変わっていって、どんどんおもしろくなったり。」「はじめは丸いお花をつくっていたけど、○○さんの花のつくり方がすてきだったのでいっしょにつくりました。」「体育館玄関から飛び出す枝をつくりたくて、○○さんと○○さんとつくりました。飛び出すことができてよかったです。」



児童は活動を中心に価値を見いだしていることが鑑賞の意見を聞くとよくわかる。製作過程のある瞬間や、友達から学んだこと、その場所での出来事に喜びを感じ、心に残るものなど強く感じた。また、児童は、製作と鑑賞を繰り返し行いながら、よりよいものを目指して活動していることも分かった。



#### III 研究の成果と課題

①成果 (男子 21名 女子 17名 計 38名) 実施日 平成 30年 12月 13日 (単位:名)

質問	集計結果
図工の授業に興味・関心はあるか	とてもある: 37 ある: 1 少しある: 0 ない: 0
好きな単元は何か (複数回答可)	絵: 23 立体・工作: 35 鑑賞: 19
アイデアはよく思いつくか	思いつく: 22 思いつかない: 16
製作に困ったとき誰に相談するか	友達: 28 先生: 7 相談しない: 3

授業で目にした児童の様子は、考えを言葉にしたり、友達に意見を伝えたりしながら、その場所と材料で新聞紙をつくり、つくりかえながら次々と創造活動をしていた。離れた場所で、おののおの

に活動している様子でも、場所やつくるものを共有しながら製作を進めている。アンケートの結果から、図工の授業に興味・関心がある児童が、35人から37人に増え、好きな単元に立体・工作を選ぶ児童も35人に増えた。友達と関わり合い、考えや思いを伝え合いながら、つくり、つくりかえ、つくる活動が楽しいものであることがよくわかる。また、「アイデアはよく思いつくか」の質問に思いつくと答える児童が17人だったのに対し、授業実践後は22人と5人増えた。さらに、「製作に困ったときに誰に相談するか」の質問に友達と答えた児童が、17人だったのに対し、授業後は28人に増えている。このことは、授業中友達と話をしたり、共に関わり活動したりするなかで新しいアイデアを思いつき、○○をつくりたい、という思いや願いが芽生えたことがわかった。

児童の様子から、造形遊びは、児童が対象と自分とのかかわりを見付け、自分のよさを發揮できる価値ある活動であり、主体的に学ぶ態度や、形や色などによるコミュニケーション能力も育まれ、大きくとらえれば、生きることを学ぶ活動ともいえる。

## ②課題

はじめての体育館での図画工作科の授業で、場所が広く、作品も大きいために戸惑う児童もいた。その場に座り込んで、新聞紙で折り紙をしたり、絵や写真を切り抜いたりと、活動が小さい児童もあり、机上の表現活動から体育館での表現活動を行うための、段階をふんだ指導が必要であった。しかし、教師が期待する姿ではない時も、そこから形をつくり、つくりかえ、次の新しい発想や活動へつながっていく様子が見られた。完成後に児童の活動を振り返り、あの時の活動があって、この形につながっていると、気づくこともできた。

本校では、造形遊びをする活動を取り入れた授業を行っているが、評価の難しさや作品として形が残らないために、造形遊びをする活動の取り組みが少ない現状がある。また、造形遊びの既習学習において、材料や場所などの特徴を生かして活動したり、発想や想像したことを形に表したりすることができるようになっているかは疑問がのこる。

今後、造形遊びの学習後、児童に自分に何の力がついたのかを明確にし、つくる過程を楽しみながら、創造的に発想や構想をしたり、自分の見方や感じ方を深めたりしながら、実現したい思いを表現できる児童を育成したい。

児童が、有能な学び手であり、その有能さを思う存分に發揮できるよう、学び合い高め合う活動に視点をおいた、つくる過程を楽しみながら、実現したい思いを表現できる児童を育成するための学習指導を追求したい。

## —参考文献—

- ・小学校学習指導要領（平成29年告示）解説 図画工作編／平成29年7月 文部科学省
- ・「平成30年度 学校教育指導方針」茨城県教育委員会
- ・子どもスイッチON!!学び合い高め合う「造形遊び」—豊かな学びの世界がひろがる図工の授業づくり／岡田京子／2015年6月30日 東洋館出版社
- ・成長する授業—子供と教師をつなぐ図画工作／岡田京子／2016年12月22日 東洋館出版社
- ・特定の課題に関する調査（図画工作・美術）調査結果（小学校・中学校）／平成23年3月 国立教育政策研究所 教育課程研究センター
- ・平成24年度学習指導要領実施状況調査 教科等別分析と改善点（小学校 図画工作）